

2019年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <http://www.nisseiasb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 宮坂 純一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 赤沼 和也 TEL 0267-23-1560

四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第1四半期の連結業績（2018年10月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	6,118	△4.2	573	△51.2	709	△46.9	640	△54.7
2018年9月期第1四半期	6,384	16.0	1,175	105.0	1,337	19.2	1,413	107.7

(注) 包括利益 2019年9月期第1四半期 485百万円 (△60.1%) 2018年9月期第1四半期 1,216百万円 (△42.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	42.70	-
2018年9月期第1四半期	94.11	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第1四半期	43,851	26,724	60.9
2018年9月期	46,499	27,237	58.6

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 26,719百万円 2018年9月期 27,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	-	0.00	-	60.00	60.00
2019年9月期	-	-	-	-	-
2019年9月期(予想)	-	0.00	-	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,500	1.2	2,400	△13.8	2,600	△2.7	1,800	△32.3	120.07
通期	30,000	7.8	5,900	15.2	6,300	19.3	4,400	1.2	293.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期1Q	15,348,720株	2018年9月期	15,348,720株
② 期末自己株式数	2019年9月期1Q	356,923株	2018年9月期	331,923株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期1Q	15,007,034株	2018年9月期1Q	15,016,924株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・「2019年9月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10
受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年10月1日～2018年12月31日、以下、当第1四半期又は当期間)の我が国経済は、堅調な企業収益や雇用情勢の改善、底堅い設備投資の継続などが見られ、緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外経済は、全体として緩やかな減速傾向にあり、通商問題の影響や為替動向の先行きなど予断を許さない不透明な状況で推移しました。米国経済は、良好な雇用環境や消費者マインドの改善を背景に、消費推移が堅調に継続したものの、欧州経済は、外需悪化を主因として成長ペースが低下しました。新興国では、米中貿易摩擦を主因として中国経済がやや減速したほか、他の新興国も減速傾向が強まりました。また、欧州を発端とした廃プラスチック問題に関する議論が活発化し、この動きが全世界に拡大しました。このように、当社を取り巻く経営環境は、顧客需要が一部で弱含みながらも、総じて横ばい基調で推移しました。

こうした環境下、当社グループは中長期的な成長発展方針を継続し、事業規模の拡大を見据えた各種戦略的施策展開に注力しました。

技術面では、当社が従前より得意とする高品質・高付加価値生産が特徴のワンステップ成形機の優位性を更に高める「ゼロ・クーリングシステム」と命名した新技術の開発実用化に取り組み、製品競争力を強化しました。これは、ワンステップ成形機の中でも当社の4ステーション方式でしか成し得ない、容器の生産性・物性強度・外観品質・軽量化を同時にかつ飛躍的に向上させる画期的な新技術です。とりわけ、軽量化は、使用プラスチック材料の削減を実現できるため、廃プラスチック問題への対策にも有効な技術であります。

販売面では、全世界の既存・新規マーケットへの「ゼロ・クーリングシステム」周知活動に注力するとともに、新たに開発した大量生産を可能とする新製品を海外展示会に出展し市場浸透を図りました。

生産面では、稼働開始したインド第3工場の安定化、先行投資した国内新工場の有効活用開始と、これに伴う静岡工場機能の集約により、グループ全体の生産・物流の一層の効率化を推進しました。

廃プラスチック問題に関しましては、当社グループにとって大きなビジネスチャンスと捉えており、対策の中心となる「Reduce=材料使用量の削減」「Reuse=使い捨てない容器の成形提案」「Recycle=あらゆるリサイクル材料の成形」、「生分解性プラスチックへの取組み」という各テーマ全てに、従前より技術的対応を進めています。具体的には、「ゼロ・クーリングシステム」による使用材料の減量、容器の再利用に必要な高耐熱性技術、多種リサイクル材料による成形を可能とする技術、素材・樹脂メーカーなどからの要請に基づく生分解性プラスチック利用の共同研究などです。また、加盟するプラスチック工業連盟の「プラスチック海洋ごみ問題の解決に向けた宣言」の趣旨に賛同し署名しました。今後も、地球環境と共存しながら継続した成長を実現するため、啓蒙活動の推進や、異業種との連携強化により、有益な容器成形の研究開発を継続します。

販売成績につきましては、当期間の受注高が6,308百万円(前年同期比75.4%)と、好調であった前年同期を下回りましたが、四半期毎に濃淡のある中で一定水準を確保しました。また、当期間の売上高は、6,118百万円(同95.8%)とほぼ前年同期並みを確保しました。なお、当期間末現在の受注残高は、10,270百万円(前年同期末比93.0%)と、前期(2018年9月期)の各四半期末の平均受注残高と比べ同水準を維持しております。

利益面につきましては、戦略的先行投資費用を当期間に集中計上した結果、売上総利益は2,450百万円(前年同期比81.9%)、営業利益は573百万円(同48.8%)とそれぞれ減益となりました。また、生産・物流機能効率化を企図した静岡工場機能集約費用は当期間限りの費用となります。なお、本業での調達・生産・出荷・販売プロセスにおける従来の高収益構造に変化はありません。

当第1四半期連結累計期間における損益の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第1四半期	6,118	2,450	573	709	640
前第1四半期	6,384	2,991	1,175	1,337	1,413
前年同期比	95.8%	81.9%	48.8%	53.1%	45.3%

製品別売上高状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー 成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第1四半期	3,130	1,884	374	729	6,118
前第1四半期	3,160	1,960	409	853	6,384
前年同期比	99.1%	96.1%	91.3%	85.5%	95.8%

製品別の売上高状況につきましては、ストレッチブロー成形機が3,130百万円（前年同期比99.1%）とほぼ横ばいであったのに対し、金型が1,884百万円（同96.1%）と減収となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント（地域）別売上高状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	合計
当第1四半期	1,406	1,193	2,539	456	521	6,118
前第1四半期	2,266	1,383	1,905	190	638	6,384
前年同期比	62.1%	86.3%	133.3%	239.0%	81.7%	95.8%

セグメント（地域）別利益

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	合計
当第1四半期	299	371	471	69	122	1,334
前第1四半期	627	491	320	46	169	1,655
前年同期比	47.7%	75.5%	147.1%	148.2%	72.7%	80.6%

① 米州

期首受注残高が低い水準であったことにより、北米市場、中南米市場で減少となり、地域全体の売上高は1,406百万円（前年同期比62.1%）と減収となりました。セグメント利益は減収の影響などにより、299百万円（同47.7%）と減益となりました。

② 欧州

各市場で概ね前年同期並みで推移し、地域全体の売上高は1,193百万円（前年同期比86.3%）となりました。セグメント利益は、371百万円（同75.5%）となりました。

③ 南・西アジア

ドバイの販売法人やシンガポールの販売法人が増収になったことにより、地域全体の売上高は2,539百万円（前年同期比133.3%）と増収となりました。セグメント利益も増収効果により、471百万円（同147.1%）と増益を確保しました。

④ 東アジア

主要市場の中国などで増収となり、地域全体の売上高は456百万円（前年同期比239.0%）と増収となりました。セグメント利益は展示会費用の計上があったものの、増収の影響により、69百万円（同148.2%）と増益となりました。

⑤ 日本

やや低調に推移し、売上高は521百万円（前年同期比81.7%）と減収となりました。セグメント利益も、122百万円（同72.7%）と減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
当第1四半期	28,823	15,027	9,769	7,356	26,724
前連結会計年度	31,180	15,318	11,500	7,761	27,237

当第1四半期連結会計期間末（以下、当期末）の流動資産は、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ2,356百万円減少し、28,823百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ291百万円減少し、15,027百万円となりました。この結果、当期末の資産合計は、前期末と比べ2,647百万円減少し、43,851百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ1,730百万円減少し、9,769百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ404百万円減少し、7,356百万円となりました。

純資産は、配当金の支払いなどにより、前期末と比べ512百万円減少し、26,724百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「(1) 経営成績に関する説明」に記載したとおり、前年同期が高水準の経営成績を示していたことから、当第1四半期の経営成績は前年同期を下回りましたが、戦略的先行投資を集中的に実施した当期間特有の影響を考慮すると、概ね想定内で推移しました。

今後は、強化した生産体制を活用し、量産性を大幅に向上させた新型の大型成形機と画期的新成形技術「ゼロ・クーリングシステム」を搭載した新型成形機について全世界の既存・新規マーケットへの浸透を加速させます。併せて、安定的販売実績のある中小型成形機とグローバル顧客への大型成形機の拡販に取り組みます。

現在の受注残高や、底堅い引き合い状況を踏まえて、2018年11月9日公表の連結業績予想につきましては、現時点では修正を行いません。

今後、受注状況や環境要因の変化等を勘案し、業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,163	7,222
受取手形及び売掛金	5,859	5,712
商品及び製品	2,563	2,244
仕掛品	6,513	6,996
原材料及び貯蔵品	5,530	5,639
その他	1,739	1,280
貸倒引当金	△189	△272
流動資産合計	31,180	28,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,521	5,509
機械装置及び運搬具(純額)	4,222	4,088
土地	1,165	1,165
その他(純額)	881	994
有形固定資産合計	11,791	11,757
無形固定資産	125	124
投資その他の資産		
投資有価証券	236	192
その他	3,296	3,081
貸倒引当金	△130	△128
投資その他の資産合計	3,402	3,145
固定資産合計	15,318	15,027
資産合計	46,499	43,851

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,162	2,510
短期借入金	2,891	2,925
未払法人税等	782	203
前受金	2,248	2,149
賞与引当金	267	202
役員賞与引当金	15	11
その他	2,133	1,767
流動負債合計	11,500	9,769
固定負債		
長期借入金	6,592	6,136
役員退職慰労引当金	366	365
退職給付に係る負債	627	660
その他	174	194
固定負債合計	7,761	7,356
負債合計	19,262	17,126
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	22,093	21,832
自己株式	△202	△299
株主資本合計	28,947	28,590
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	27
為替換算調整勘定	△1,787	△1,898
その他の包括利益累計額合計	△1,716	△1,870
非支配株主持分	6	5
純資産合計	27,237	26,724
負債純資産合計	46,499	43,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
売上高	6,384	6,118
売上原価	3,392	3,667
売上総利益	2,991	2,450
販売費及び一般管理費	1,816	1,877
営業利益	1,175	573
営業外収益		
受取利息	33	33
受取配当金	15	3
為替差益	68	31
受取手数料	44	48
その他	4	28
営業外収益合計	165	145
営業外費用		
支払利息	2	8
その他	0	0
営業外費用合計	3	8
経常利益	1,337	709
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	744	—
特別利益合計	744	—
特別損失		
固定資産売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	2,082	709
法人税、住民税及び事業税	584	123
法人税等調整額	83	△54
法人税等合計	667	68
四半期純利益	1,414	640
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,413	640

(四半期連結包括利益計算書)

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	1,414	640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△426	△43
為替換算調整勘定	228	△111
その他の包括利益合計	△197	△155
四半期包括利益	1,216	485
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,216	486
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自2017年10月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	
売上高						
外部顧客への売上高	2,266	1,383	1,905	190	638	6,384
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,266	1,383	1,905	190	638	6,384
セグメント利益	627	491	320	46	169	1,655

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,655
全社費用	△362
たな卸資産の調整額	△47
その他の調整額	△70
四半期連結損益計算書の営業利益	1,175

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	
売上高						
外部顧客への売上高	1,406	1,193	2,539	456	521	6,118
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,406	1,193	2,539	456	521	6,118
セグメント利益	299	371	471	69	122	1,334

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,334
全社費用	△380
たな卸資産の調整額	△21
その他の調整額	△359
四半期連結損益計算書の営業利益	573

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

① 受注状況

製品別	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	4,600	6,719	3,315	5,741	72.1	85.4
金型	2,383	3,654	1,861	3,656	78.1	100.1
付属機器	536	588	432	796	80.6	135.4
部品その他	844	79	699	76	82.8	97.1
合計	8,364	11,041	6,308	10,270	75.4	93.0

② 販売実績

製品別	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ストレッチブロー成形機	3,160	49.5	3,130	51.2	99.1
金型	1,960	30.7	1,884	30.8	96.1
付属機器	409	6.4	374	6.1	91.3
部品その他	853	13.4	729	11.9	85.5
合計	6,384	100.0	6,118	100.0	95.8